

令和5年(2023年度)

令和5年 6月 20日

学校関係者評価 報告書

一般財団法人 積善会
愛媛十全医療学院
学校関係者評価委員

一般財団法人積善会 愛媛十全医療学院 学校関係者評価委員は、令和4年度の学校運営に対する自己評価・外部委員評価に基づいて学校関係者評価を行いましたので、下記の通り報告いたします。

1 実施日：自己評価 令和5年 4月
外部評価 令和5年 5月～6月

2 実施方法： 特別支援学校校長会会長の交代に伴い、しげのぶ特別支援学校の校長先生を新たに外部評価委員に迎え、3名の外部委員には、施設訪問、web対応、電話連絡による個別対応とファイル形式での評価方法により実施した。
なお、対面による会議形式での委員会開催はコロナ禍を経て、必要な場合に限った開催へ変更した。

3 学校関係者外部評価委員

稲荷 邦仁 愛媛県特別支援学校校長会 会長
伊藤 雄規 十全総合病院 リハビリテーション科技師長
青木 進治 介護老人保健施設 希望の館 作業療法士

<内部委員>

松田芳郎 (愛媛十全医療学院 学院長)
田中信政 (愛媛十全医療学院 事務長)
福田 靖 (愛媛十全医療学院 教務科長)
岩本英毅 (愛媛十全医療学院 理学療法学科 学科長)

4 学校関係者評価の内容と実施状況

1)学校関係者評価の目的と方針

- ①関係業界・職能団体、高等学校、学生保護者、地域住民などの学校関係者が、本学院の自己評価の結果を評価することを通して、学校運営・教育活動を確認し、その客観性・透明性を高める。
- ②学校関係者評価により明確となった学校運営・教育活動における課題の改善を図る。

③学校関係者評価は、自己評価を基に、「専修学校における学校評価ガイドライン」及び本学院の学校評価実施規定に則り実施する。

2)評価方法と公表

学校関係者評価の実施にあたっては、当該年度に実施した「自己点検評価」を学校関係者委員の皆様にご確認いただき、自己点検評価の各項目に対するご意見と評価をとりまとめた。
各項目の評価結果や総評は、今後の本学院における教育活動や学生指導等、学校運営の改善に活かし、教育水準の向上に努めることとし、ホームページへ公表いたします。

5 学校関係者評価・意見

評価項目に対する学校関係者の評価及び意見や提案等を報告します。

- A 十分に達成している。 [達成度が高い]
- B 達成している。 [概ね達成しており改善を要しない]
- C 達成がやや不十分である。 [若干の改善を要する]
- D 達成が不十分である。 [不適合がある、改善を要する]

6 学校関係者評価項目

- 項目1 教育理念・目標・方針
- 項目2 学校運営
- 項目3 教育活動
- 項目4 教育成果
- 項目5 学生支援
- 項目6 教育環境
- 項目7 学生募集と受け入れ
- 項目8 財務
- 項目9 法令等の遵守
- 項目10 社会貢献・地域貢献

以下、評価項目に従い、自己評価ならびに学校関係者委員による結果と総評(意見等)を報告いたします。

評価基準) A十分に達成している

B達成している

C達成がやや不十分である

D達成が不十分である

稲荷 伊藤 青木

項目1 教育理念・目的・方針

点検項目		自己評価	外部委員評価		
①	学院の教育理念や目的、育成人材像は定められているか	A	A	A	A
②	学院の教育理念や目的、育成人材像が明文化され公表されているか	A	A	A	A
③	学科ごとの教育方針が明文化され公表されているか	A	A	A	A

◆ 自己点検評価の理由(他、課題や対応があれば)

開学より「建学の精神」を基本とし、誠の医療を常に提供できる医療人を目指すべき人材を育成している。
学院のHPでは、ディプロマ・カリキュラム・アドミSSIONの3ポリシーを掲載し、誰に対しても基本方針が理解できるように公開している。
学生に対しては各学科・学年でのガイダンスや前期・後期のオリエンテーションにおいて冊子媒体を活用し説明している。
学生募集に際しても、オープンキャンパス等で「建学の精神」を伝え、当学院の目指す教育理念・目標を丁寧に説明した。
また、感染対策の為保護者会総会は中止となったが、保護者役員会にて学院の教育方針等を説明し、更に書面等でお伝えした。

項目2 学校運営

点検項目		自己評価	外部委員評価		
①	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	A	A	A	A
②	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されてるか、有効に機能しているか	A	A	A	A
③	国のガイドライン等で定める基準が遵守されているか	A	A	A	A
④	情報システム化による業務の効率化が図られているか	B	B	B	B

◆ 自己点検評価の理由

前年度の学生動向や官公庁の指針、規則改定などをふまえ、学内で継続的に審議し次年度に向けての事業計画を立案している。
運営会議、カリキュラム検討(FD)委員会・協議会等、学則に明文化しており、今年度はコロナ禍においても迅速に対応し有効的な機能を果たしている。
国の基準に従い、各職能団体が提示している業務指針及びガイドラインを参考に、必要に応じて学則の改定等を実施している。また、第三者機関の審査規定を遵守し、自己点検をしながら適宜クリアしている。
情報システム化については、コロナ禍における対応等により順次必要に応じて整備がなされている。
しかし、学生の教育に必要な整備については不十分な点もあり、今後の課題として取り組みたい。

評価基準) A十分に達成している

B達成している

C達成がやや不十分である

D達成が不十分である

稲荷 伊藤 青木

項目3 教育活動

点検項目		自己評価	外部委員評価		
①	教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	A	A	A	A
②	教育目標に応じた教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	A	A	A	A
③	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	A	A	A	A
④	関連分野の医療施設との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	A	A	A	A
⑤	授業評価の実施・評価体制はあるか	A	A	A	A
⑥	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	A	A	A	A
⑦	成績評価・単位基準・進級・卒業判定の基準は明確になっているか	A	A	A	A
⑧	人材育成、目標に向け講義を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	A	A	A	A
⑨	関連分野における先端的な知識・技術等を修得するための研修や教員の指導力育成などの資質向上のための取り組みがおこなわれているか	A	A	A	A
⑩	教員の能力開発のための研修等が行われているか	B	B	B	A

◆ 自己点検評価の理由

建学の精神に沿った教育を目指し、教育課程の編成・実施を行った。また、養成施設指導ガイドラインの改正に伴い、適宜対応を行った。
シラバスを公開し、3年間の学習過程を可視化することにより、学生自身が主体的に学ぶことが出来る指導体制を図ることが出来た。
外部関係者からの評価を取り入れ、学内の教育の質の向上を図る取り組みを行った。
FD委員会を中心に、学科等のカリキュラムが体系的に編成されているか確認をし、必要に応じて見直しを行った。
また、学生の授業評価を各期ごとに実施し、講義内容の見直しを行いながら時代に即した教育を目指して工夫・実施を行っている。
各専門分野ごとに、豊富な臨床経験を有する教員並びに非常勤講師を配置して、先端的な講義が行われるよう取り組んでいる。
教員の能力開発のための研修については、on-line講義等の時代に即した内容も加味して今後工夫した講義が行われるよう、取り組んでいきたい。

項目4 教育成果

点検項目		自己評価	外部委員評価		
①	資格取得率の向上、維持が図られているか	A	A	A	A
②	就職率の向上、維持が図られているか	A	A	A	A
③	退学率の低減が図られているか	C	C	B	B
④	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	B	A	B	B

◆ 自己点検評価の理由

常に国家試験合格率100%を目指し、国家試験対策講義や模擬試験を実施し個々の学生に応じた学科別対応・ゼミ形式の指導・個人指導等を行っている。
理学療法学科 新卒者 合格率 100% (全国平均 94.9%) * 昨年91.4%、一昨年95.1% 就職内定率:100%(3月末時点)
作業療法学科 新卒者 合格率 94.4% (全国平均 91.3%) * 昨年100%、一昨年100% 就職内定率:100%(3月末時点)
学生の希望に応じて就職指導を行い、就職試験についての細かなサポート(面接指導、履歴書指導)により就職率の向上を目指している。
退学率の低減を目指して適宜学生面接を行い、学生の状態の把握に務めている。しかし、学力低下等により退学者が昨年に比べ増加しており、学生の学力向上を含めたきめ細やかな指導の必要性を感じ、次年度に向けて対策を行っている。
学業に支障が無い範囲で、積極的にボランティア活動への参加を推奨している。卒業後は、各種専門職団体を通じて社会的な活動を行っている。

評価基準) A十分に達成している

B達成している

C達成がやや不十分である

D達成が不十分である

稲荷 伊藤 青木

項目5 学生支援

点検項目		自己評価	外部委員評価		
①	就職に関する体制は整備されているか	A	A	A	A
②	学生相談に関する体制は整備されているか	A	A	A	A
③	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	B	B	B	B
④	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	A	A	A	A
⑤	課外活動に対する支援体制は整備されているか	C	B	B	B
⑥	学生の生活環境への支援は行われているか	B	B	B	B
⑦	保護者と適切に連携しているか	A	B	A	A
⑧	卒業生への支援体制はあるか	A	B	A	A

◆ 自己点検評価の理由

①求人閲覧室を設置し学生はいつでも求人情報を得られる環境にある。また、担任を中心に就職活動の支援を行い、円滑に内定を得られるよう取り組んでいる。
②学生相談については、適宜担任により面接を行い常に学生の状況を把握するよう努めている。また、必要に応じて学内カウンセラーへ繋げて早期の対応を図っている。
③成績優秀者への学費免除等、特待生制度による経済的なサポートを行っている。また、学納費に困窮した場合の相談も個別窓口を設け対応している。
④附属病院において健康診断を実施し、健康状態の把握に努めている。また、体調不良者は附属病院での受診等、医療面においての支援体制を整備している。
⑤課外活動は、学生自治会等を通して活動している。また、自治会主体のボランティア活動へのサポートも行っている。
⑥入学時の宿舎案内、各種任意保険、生活防犯対策、実習生活の対策等ガイダンス時に外部から専門家・講師を招き対応している。
⑦保護者への情報提供として、メール等を活用して必要に応じて連携を図っている。また、保護者面談を行い、学院での学習状況を説明し適宜連携を図っている。
⑧同窓会活動を通じて、卒業生との連携を図る機会を設けている。

項目6 教育環境

点検項目		自己評価	外部委員評価		
①	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	B	B	B	B
②	学外の実習施設について十分な教育体制・生活環境を整備しているか	A	A	A	A
③	防災に対する体制は整備されているか	C	C	C	C
④	図書など教育上必要な資料が系統的に整備されているか	B	B	B	B

◆ 自己点検評価の理由

指定規則、ガイドライン等で定められている基準に従って整備されている。また、指定規則、ガイドラインの改正に伴って適宜整備を行っている。
また、on-line講義の実施に伴って必要な機器の整備については、随時整備を行っている。
実習については、1)臨床実習指導者講習会での指導者との連携 2)実習施設整備及び宿舎の確保 3)コロナ禍における実習施設変更や振替
4) 宿舎費や移動にかかる交通費の一部負担など、学外実習についての教育体制・生活環境の整備を行っている。
定期的な消防避難訓練の実施により、災害時の対応のマニュアル作成から実施の取り組みを行っている。今後の課題として、耐震補強工事等の実施が必要と思われる。
新規図書の購入と既存図書の整理をしながら、教育上必要な資料等の整理対応を行っている。

評価基準) A十分に達成している

B達成している

C達成がやや不十分である

D達成が不十分である

稲荷 伊藤 青木

項目7 学生募集と受け入れ

点検項目		自己評価	外部委員評価		
①	学生募集活動は適正に行われているか	A	A	A	A
②	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	A	A	A	A
③	学納金は妥当なものとなっているか	B	B	B	B

◆ 自己点検評価の理由

広報室を設置し、室長を中心に高等学校訪問を積極的に行い、教育内容・教育成果について説明を行っている。また、高校別のガイダンス等にも積極的に参加し、広く学生募集活動を行っている。また、オープンキャンパスを定期的に実施し、受験生や保護者に教育成果を伝える機会を設けている。
入学選抜要項が整備され、公表されている。また、ホームページにて入試情報・学納金・諸経費等についても公開している。

項目8 財務

点検項目		自己評価	外部委員評価		
①	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	A	A	A	A
②	財務について会計監査が適正に行われているか	A	A	A	A
③	財務情報公開の体制整備はできているか	A	A	A	A

◆ 自己点検評価の理由

年度末には、事業計画に沿っての反省と課題を整理し、年度初めには前年度の反省を踏まえ事業計画を立案して報告書を作成。
報告書は、理事会・評議委員会へ提出し承認を得ている。
財務の情報公開は法人本部にて一括掲示している。学院で申し出を受けた場合、紙面を提示する体制をとっている。

評価基準) A十分に達成している

B達成している

C達成がやや不十分である

D達成が不十分である

稲荷 伊藤 青木

項目9 法令等の遵守

点検項目		自己評価	外部委員評価		
①	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	A	A	A	A
②	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	A	A	A	A
③	自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	A	A	A	A
④	自己点検・自己評価の公開を行っているか	A	A	A	A

◆ 自己点検評価の理由

①毎年所管機関へ現状を報告している。重要事項については学院会議により決定している。
②個人情報保護規程を設け、対応している。また、その内容を学生便覧に掲載し、学生に周知を行っている。
③第三者機関(リハビリテーション教育評価機構)により定期的な評価を受け、その際に自己点検をし問題点について改善すべく取り組んでいる。
④学院のホームページに一般公開している。

項目10 社会貢献・地域貢献

点検項目		自己評価	外部委員評価		
①	自治体事業への協力	B	B	B	B
②	地域住民への貢献、公開講座等を実施しているか	C	C	B	C
③	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	B	A	B	B

◆ 自己点検評価の理由

昨年までコロナ禍で実施出来ていなかった活動や事業が一部実施可能となり、少しずつ社会貢献・地域貢献が再開されつつある。
①愛媛パラスポーツフェスティバル ②傷害予防のための地元中学校へのストレッチ指導 ③えひめアビリンピック 他、
地域支援事業への参画を継続的に実施すべく、学生と一体となって取り組んでいる。
ボランティア活動は、学生の学業に支障のない時間帯や曜日になるため、学生の休日・休息日や自主勉強、健康やストレスなども考慮し、
学科、学年別、有志など無理のない範囲で行えるよう学院として可能な範囲で継続的にサポートしていく考えである。

評価基準) A十分に達成している

B達成している

C達成がやや不十分である

D達成が不十分である

稲荷 伊藤 青木

◆ 学校関係者評価 総評(理由・ご意見等)

＜稲荷委員による総評＞

HPが分かりやすく、閲覧者が目を引くように構成されている。また、附属病院と連携を図りながら、優秀な人材を育成していることがよく分かる。

学生VOICE(先輩に聞いてみよう)は、十全医療学院の魅力を伝えるのに有効な手段だと思う。社会で活躍している先輩のメッセージを多く掲載し、更にアピールすればよいと思う。特別支援学校には、身体の動き等に関して、専門的な知識・技能が必要な幼児児童生徒が多数在籍しており、専門家からのアドバイスを求めている教員も多い。貴校が有している知識・技能を還元できるような取り組みが更に充実すると地域貢献に結び付くと思われる。

退学者が増加している原因を詳しく分析し、対策を練ることで優秀な人材をより多く輩出してほしい。

来る南海トラフ地震に備えて、耐震補強に関する整備が早急に望まれる。

＜伊藤委員による総評＞

ここ数年のコロナ感染症対策で学校教育は多くの創意工夫と試行錯誤の連続で在学中または既卒業に至った学生、教職員の皆様も大変苦慮したことがよく分かりました。サテライトで行うオープンキャンパスはとても良い取り組みで学生確保に向けて続けていただきたいと思います。

昨今の学習意欲減退による退学や進路変更は貴学に限らず高等教育でも多く見受けられ、社会全体の問題点と感じています。感染症が終息に向かい、以前の社会生活が戻りつつある現状でリハビリテーション専門職を目指す質の高い人材育成が図られますよう貴学ともども私たち実習施設も協力したいと思います。また、近年の頻発する災害に対しては耐震補強など環境整備が急務で同時に地域の防災・医療拠点としての役割が求められます。地域自治体との密接な関係構築なども含めて検討いただければと考えます。貴学のある東温市は豊かな自然に囲まれ、勉学に打ち込める環境にあります。開学から歴史も長く、その強みを活かし多くの学生が集う専門教育をこれからもよろしく願います。

＜青木委員による総評＞

昨年と同様に、コロナ禍での学校運営や教育活動は大変なことの連続であったと思います。表現は不適切かもしれませんが、良くも悪くも新型コロナに慣れてしまっている状況もあったのではないかと考えます。そのような中で、良い流れとして活動の幅を広げたり再開されているような動きが自己評価からも感じられたことは大変良かったと思います。

一方で、新型コロナに対する解釈や指針など以前の状況に近づいてきている中で、医療や福祉の現場では少しずつ対応が緩和されている状況もあるかと思いますが、引き続き感染対策継続しながら手探りで業務にあたっているところも多いのだらうと感じています。今後暫くは、過度期の中での対応に、より難しい局面も考えられます。学生の皆さんが実習先や就職先で苦勞されないためにも、引き続き感染対策はもちろんのこと医療福祉の従事者としての心構え、職業倫理など引き続きご指導をお願いします。

また、耐震補強の工事に関しては引き続き検討項目として挙げられているようなので、計画的に整備されますようお願いいたします。

学生の減少ということにも触れられており、学生募集も大変厳しい状況かと思いますが、今後ますます愛媛十全医療学院が発展されることを祈念しております。